

# 躍

いきいき狭山人  
びと



ニュージーランドの人たちは、茶道から日本の心を感じるといいます



書道の体験や初めて見る紙芝居に、子ども達は大喜び

## 日本とニュージーランドの友好の架け橋 多くの人に日本文化を伝えながら 国際交流に貢献していきたい

21世紀を迎え、政治、経済、文化など多くの分野でグローバル化が進んでいます。

外国との関係がますます重要となっている昨今では、国、自治体、企業やNPOなどに加え、意欲ある市民に

よる多様な交流活動が、外国との相互理解の促進に大きな役割を担っています。

日本ニュージーランド協会会長の實吉悦子さんは、正にその中のお一人といえます。「16歳の時にアメリカ人と文通して、外国との交流に興味を持ちました」と話す實吉さん

は、平成9年に教員生活を定年で終えられた後、英語を生かしたボランティア活動をしたいと一念発起し、同じ年の10月に国際インターンシップの日本文化大使としてニュージーランドに渡りました。「広大な牧場の小高い丘にある学校で、日本語のほかに書道、茶道、生け花などの日本文化を教えました。異文化に触れ、みんなの喜びいっぱい笑顔が今も忘れられませんと」と言います。その後、ほとんど毎年ニュージーランドを訪問し、各地で日本文化に関する教室を開催するなど、民間大使としての活動を続け

てきました。

15年にはその顕著な活動実績が認められ、日本ニュージーランド協会の会長に就任し、

現在も両国の友好親善に力を注いでいます。外国で、

現地の人たちと生活してみると、人間同士の絆が深まることを肌で感じます。同時に、日本の文化、伝統を正しく伝え、私たちが日本文化に理解を深めることが大切だと思えました」と語る實吉さんは「日本舞踊や着物の着付けなど、多様な趣味が、国際交流に多いに生かされているそうです。一方、市内の小・中学校や高校にニュージーランドから教員を招いたり、オークランドの高校生を毎年市内の家庭にホームステイさせる体験事業なども行っています」というように、ニュージーランドと狭山市との民間交流の窓口



これまで、延べ50か国を訪問してきました

日本ニュージーランド協会会長

さねよし  
實吉悦子さん (富士見在住)

役となっています。さらに17年度からは、狭山市国際交流協会の副会長として、アメリカ、韓国、中国などの姉妹友好都市交流にも指導的な役割を果たされています。「家族の介護をしながらもこの活動が続けられたのは、市内の病院や福祉施設でお世話になり、支えていただいた皆さんのおかげです。そのご恩を忘れずに、国際交流の分野で少しでもお役に立ちたいです」と抱負を語る實吉さん。日本とニュージーランドの架け橋として、また市の国際交流の先導者として、これからも活躍を続けていきます。

# オピニオン

写真クイズの回答の際に、広報さやまについて寄せられたご質問やご意見にお答えします

南入曾在住 70代 男性

Q...季節によって催し物が集中することがあると思うので、ページを増やして、たくさんの情報を紹介してください

A...限られたページの中で、少しでも多くの情報を載せられるよう工夫しながら編集しています。今後とも、より多くの情報を掲載できるよう一層努力していきます

東三ツ木在住 50代 男性

Q...資源の節約のために、もう少し紙質を落としてもよいのではと思います

A...裏面に文字や写真などが写らない程度の厚みを持った紙の中で、できるだけ価格の低い再生紙を使用しています。今後も環境にやさしく、安くて見やすい紙を使って行きたいと思えます

下奥富在住 50代 女性

Q...編集員って何人いて、どんな感じの人たちなんですか。編集後記に似顔絵があったらいいと思います

A...広報さやまは、広報課職員の内3名が担当しています。市民の皆さんの役に立ち、親しんでもらえる広報さやまとなるよう編集に取り組んでいます。似顔絵の挿入はむずかしいですが、さまざまなイベントに広報さやまの腕章をつけて取材していますので、見かけたらご協力をお願いします

貴重なご意見をありがとうございました。

寄せられましたご意見やご要望を参考に、より充実した広報さやまを作成していきたいと思えます。

これからもどうぞよろしくをお願いします。

皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代) ✉koho@city.sayama.saitama.jp

2  
9  
5  
3  
9  
2  
2  
5

問合せ海津フミさんへ  
くをモットーに活動を続けて  
いきたいと思えます。  
スすることができません。  
これからも、無理せず楽し  
を築き、心身ともにリラック  
を築き、心身ともにリラック  
スすることができません。  
気軽に相談しあうことで信頼  
を築き、心身ともにリラック  
スすることができません。  
これからも、無理せず楽し  
くをモットーに活動を続けて  
いきたいと思えます。



私の宝物 ...

## 最愛のまな娘

2か月前、私たちの家族が一人増えました。可愛い女の子を授かって、私も親としてしっかりしなければと、気が引き締まる思いです。元気で素直に育ってほしい。将来は自分のやりたいことをさせてあげたい。そう思いながら、これからは子育て中心の生活になりますが、決して妻ばかりに任せることなく、自分も楽しみながら、子育てに参加したい



石塚 望さん (狭山在住)



妻と娘の桃花です。今後の成長が楽しみです

と思います。まずは、お風呂に入れるのが私の仕事ですね。

子どもができて、妻の大切さも改めて感じています。家族の絆を深め、幸せをもたらしてくれる大切な大切な宝物です。

今回は、友人で下奥富にお住まいの方をご紹介します。

# Hello ハロー仲間たち

Vol.331



気の合う仲間と水富公民館で活動しています

## コスモスの会

私たちの会は、平成13年に健康維持と足腰の痛みに悩んでいた15名が集まり発足した「自強術」のサークルです。

自強術は、病気の予防と治療を目的とした日本で最初の医療体術で、呼吸と号令に合わせて、31種類の動作を繰り返し行うことを基本とする運動療法です。

深呼吸から静かに始まる一連の動きは、身体の可動範囲を極限まで動かすことで血行を促し、全身の調和を図りながら、健康状態を良好に保ちます。その動きは、一見簡単そうに見えますが、繰り返し続けると自然と汗がでてきて、かなりの運動量を感じることがができます。

また、私たちは身体の健康と同時に、心のケアも大切にしています。定期的に食事会などを開き、悩みごとなどを気軽に相談しあうことで信頼を築き、心身ともにリラックスすることができません。

これからも、無理せず楽しくをモットーに活動を続けていきたいと思えます。